

建物が被害を受けたとき 写真に記録しましょう

片付けや修理の前に、建物の被害状況を写真に撮って保存しておきましょう。市へ「り災証明書」を申請する際や、保険会社に損害保険を請求する際などに、たいへん役に立ちます。

ポイントは、建物の外と中の写真を撮ることです。

建物の外の写真の撮り方

- カメラ・スマホなどでなるべく四方から撮るようにしましょう。
- 浸水した場合は、浸水の深さが分かるように撮りましょう。
※メジャーなどをあてて「引き」と「寄り」の写真を撮ると、被害の大きさが良く分かります。

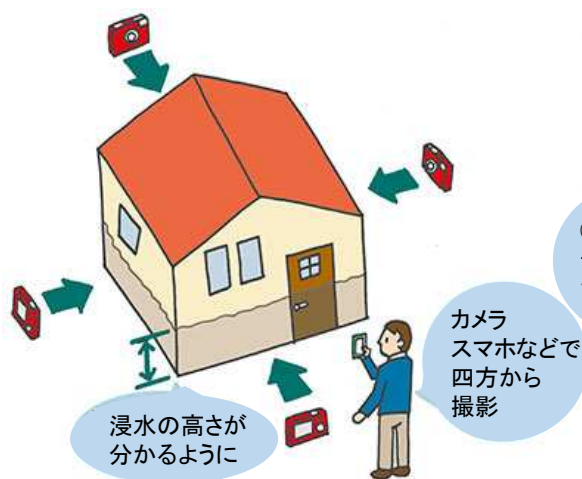
建物の中の写真の撮り方

- 建物の中の被害状況写真は、
①被災した部屋ごとの全景写真
②被害箇所の「寄り」の写真を撮影しましょう。

<想定される撮影箇所>

内壁、床、窓、出入口、サッシ、襖、障子、システムキッチン、洗面台、便器、ユニットバス など

<イメージ図>



★被害を受けた箇所はすべて撮影しましょう。

